令和元年１１月２９日(金)

「　地域協働事業 第1回 運営指導委員会が開催されました　」

11月12日(火)に、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」第1回 運営指導委員会が開催されました。

委員会に先立って、1・2年生の総合探究・総合学習の授業を参観していただきました。

授業参観後の委員会では、今年度の事業計画などについて、委員の皆さんから多くのご意見やご提案をいただきました。総合的な探究の時間を中心としたカリキュラム編成や、評価の在り方など、魅力的な学校づくりに向けた具体的な意見が多く出されました。

委員長の牧野篤教授からは、社会の大きな流れもふまえて、今後の大槌高校の在り方についてご助言をいただきました。

他の委員の方からも、これまでの常識にとらわれず、新たな時代の教育モデルを打ち立てる高校になってほしいとの期待が語られました。

今後はいただいた意見内容をふまえ、魅力化事業の具体的な施策の検討を進めてゆきます。